

【柏原社長ブログ:健康について】 2014.02.14

社長ブログ 2014.02.14

定年退職される方には、これまでの勤続の感謝の印として『感謝の楯』を贈り面談しています。その折に必ず話題になるのが健康のことです。ご本人及びご家族の皆さんが健康で「この日」を迎えられるほど幸せなことはありません。しかし、ご家族のことなどいろいろとお聞きすると、全員が健康な家庭は意外に少ないように思います。また、ご本人が定年を迎えることなくお亡くなりになり、悲しく無念な思いをされた方も多いと思います。

学業の「通知表」や「成績表」をもらったのは相当昔のことになってしまいましたが、今の私の唯一の「成績表」は、年1回の健康診断の結果報告です。通知表には4も5もありましたし(私たちの時代は5段階でした)、大学の成績表では優も良もチラホラありましたが、最近の健康診断結果は、可と不可ばかりで見ると嫌になってしまいます。

「失って気づく健康」と言われていますが、我が身を振り返っても、日々の仕事や生活の中で「健康を大切にすること」は、言うは易く行うは難しです。つついの過信、一晩寝れば治るさ・、仕事が落ち着いたら・と現状回避思考になってしまいがちです。

先日、健保組合のメンバーとミーティングを行い、組合の活動内容や当社の問題等を聞きました。医療費の増大による組合財政や負担率アップは大きな問題ですが、高齢化と共に増大する医療費を病気の発症や重症化を防ぐ「予防」という観点からの取り組みに力をいれています。最近の予防医学は進化しており、個人のレセプトデータと健診データを解析し、発症する可能性とその程度を把握できるようになりました。組合はその解析データに基づき重症者及びその予備軍に対するきめ細かな指導ができるように体制を整えています。

ただ、個人のレセプト情報は機微情報であり、健保組合から個人に対するお願い・指導となるのですが、皆が皆スナリとは受け入れてくれではありません。

「失って気付く健康」と先に言いましたが、健康を失うと、「仕事」もそして大切な「家族との幸せな生活」も失う危険にさらされてしまいます。

健康は勿論個人の問題ですが、『人材』を『人財』と位置付ける『ウチダグループの考え』からすると、『社員の健康促進』は『大きな経営テーマ』であります。

今後は「健康経営」の観点からの取り組みを拡大してまいります。

以下の4点は顕在化している課題ですので、該当する方は改善努力をお願いします。

①健康診断未受診者386名(被保険者65名、被扶養者321名) **今年度は100%を目指しましょう。**

25年度の健康診断の対象となる内田洋行健保の被保険者と被扶養者は4669名で、うち受診者は4283名、受診率は92%。
この率は他の健保と比較すると高い率と評価されていますが、それでも問題は8%、386名の未受診者がいることです。

②「要再検診の人」は必ず検診を受診してください……(私も行ってきました!)

この警告が出ても、いろんな理由をつけて再検診にいかない人がいます。
再検診の結果なにこともなかった人もいますし、再検診で癌がみつきり早期発見で手が打てた人もいます。警告放置はやめましょう。

③生活習慣病の改善努力をしてください

この患者とみなされる人が24年度健康診断で697名でした。私もその患者の一人ですが、重症化しないように「節制」を意識して生活しましょう。

④ハイリスクの人は病院の受診を受けてください

ところで、③の697名のうち高緊急度のハイリスクを持つ人が101名もいるそうですが、中にはまだ病院に行っていない人もいます。保健師から連絡があった人は、早急に検査を受けた機関等で受診するようにしてください。

